

野辺地

野辺地町内の高校生が取り組む「青い森鉄道コーディネイトプロジェクト」の第1弾となる駅の飾り付けが10日、青い森鉄道野辺地駅で行われた。今回は「にぎやかな駅」を目指し、生徒たちがさまざまなハロウィーンのグッズを飾り付け、季節感を演出した。

同プロジェクトは、

高校生が飾り付け ハロウィーンを演出

町役場の若手職員が中心となって結成したまちづくりグループ「WACCA(わかか)」が企画し、青森県立野辺地高と八戸学院野辺地西高の生徒が参加。青い森鉄道の協力も得て、8月にワークショップを開いて実施内容を決めた。

この日は約20人の生徒たちが、駅構内の清掃活動を行った後、飾り付けの製作に着手。

(山内淳二)

にぎやかな駅 楽しんで



ハロウィーングッズで駅を飾り付ける高校生

お化けのシールやカポチャをかたどったランタンのミニチュアなどを、駅正面入り口のガラス戸や連絡通路などに配置して、ハロウィーンらしさあふれる場所に变身させた。

参加した野辺地高1年の坂本亜梨子さん(16)は「狙い通りの飾り付けができた。明るく、にぎやかな駅の雰囲気を楽しんで」とアピール。